

ENGLISH AND GLOBAL EDUCATION MODEL IN RYOSO (両荘の英語科モデル 全体構想)

—世界へ羽ばたく人材育成—

9年間の英語教育でめざす姿

両荘の魅力の世界に発信できる生きた英語力

国際理解

自国や異国の文化に対する理解とグローバルな視点をもつ子

コミュニケーション能力

目的や場面に応じて英語でコミュニケーションできる子

実践的意欲

積極的に英語でのコミュニケーションを図ろうとする子

国際理解

世界へ羽ばたく人材育成

コミュニケーション能力

実践的意欲

English 英語科

特別活動等

外国語活動

外国語科

1st stage 前期

2nd stage 中期

3rd stage 後期

1年

2年

3年

4年

5年

6年

7年

8年

9年

めざす姿

就学前教育からの学びを生かし、英語に触れる楽しさを味わうとともに、英語に対する興味や関心をもつとする。

年間15時間

めざす姿

英語のリズムやイントネーションに慣れ親しむとともに、相手を意識しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

年間35時間

めざす姿

簡単な語句や基本的な表現を用いて、他者に配慮しながら、自分の考えや気持ち等を伝え合おうとする。

年間70時間

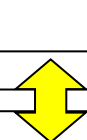
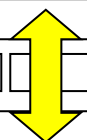
めざす姿

話し手・聞き手・読み手・書き手に配慮しながら、即興で情報を交換したり、お互いの考えや気持ち等を伝え合ったりしようとする。

年間140時間

就学前教育

英語科共通教材の活用



学級担任
専門的な知識を生かした密な連携

教科担任

ALT

ORIGINAL ENGLISH PROGRAM IN RYOSO

就学前教育からの英語科共通教材の活用

学校園連携ユニット※での取組を生かし、こども園で触れた英語の絵本や歌等を、1・2年生でも継続して活用することで就学前教育からの学びを繋げます。

専門的な知識を生かした密な連携

教科担任のもつ専門的な知識や技術が十分生かされるよう、教科担任とALT、学級担任とALTが連携して授業を行います。また、教科担任と学級担任の連携も深めます。

1・2年生からの英語科導入

挨拶や遊びを通して英語のリズムや音声に慣れ親しむ学習を1年生から導入し、英語に対する興味関心を育みながら、義務教育9年間を見通した系統的な学習を進めます。

海外協力校とのオンライン交流

5年生から9年生まで、海外協力校とオンライン交流を行います。英語学習だけでなく異文化交流により、外国の良さとともに日本の良さを再発見することもできます。

English Routine

1st stageでは、毎日の朝の会や終わりの会の際には、児童同士のやり取りに簡単な英語を取り入れることで、日常的に英語での表現に親しむことを目指します。

Small Talk

英語科の授業の中で、全学年でSmall Talkを設定し、仲間とのコミュニケーションの機会を創出します。

English Shower

日常的によく使われる英語表現を掲示したり、昼の時間に英語の歌を流したりするなど、英語に慣れ親しむことができる環境を作ります。

All English Day

ALTや英語の堪能な地域の方々と英語で交流する日を設けます。英語に触れる機会を多く作り、英語でのやり取りの楽しさに繋がります。

Online English

海外の協力校とオンライン接続した大型モニターを活用して交流します。また、2nd stage、3rd stageでは海外の児童生徒と英語でのコミュニケーションをとる機会を確保します。

Presentation in English

3rd stageでは、英語科での学びを活かして、スピーチやICTを活用したプレゼンテーションを行い、英語での表現力を育成します。

両荘みらい学園では、英語でのコミュニケーションが日常的に行えるような様々な場面を設定します。他学年、学級担任、教科担任、ALT、地域住民、外国の方等に向けた目的意識のあるアウトプットを通して、生きた英語力を育みます。

※ 中学校区を1つの単位(ユニット)とし、その地域の学校園が相互に連携し、家庭・地域とも連携を図りながら、子どもの連続した学びや育ちを支援する仕組みのこと